

令和 7 年度第 2 回津島市地域公共交通会議 議事録

1 開催日時

令和 7 年 9 月 18 日（木）午前 10 時 25 分から午前 11 時 35 分まで

2 開催場所

津島市役所 3 階 市長公室

3 出席者

別紙「令和 7 年度第 2 回津島市地域公共交通会議出席者名簿」のとおり

4 議事

（1）ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験（協議事項）

5 会議資料

- | | |
|--------|--|
| 資料 1 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（津島駅～老松住宅線） |
| 資料 2 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 使用車両（津島駅～老松住宅線） |
| 資料 3-1 | 通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 ルート図及び時刻表 |
| 資料 3-2 | 通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 新設路線一覧 |
| 資料 3-2 | 追加分 |
| 資料 3-3 | 通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 新設路線 |
| 資料 3-3 | 追加分 |
| 資料 4-1 | 【新設】津島郵便局（右回り）新設停留所写真 |
| 資料 4-2 | 西地域防災コミュニティセンター 平面図 |
| 資料 4-2 | 追加分 |
| 資料 5 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線に係る運賃の決定について |
| 資料 6 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（青塚駅～永和駅線） |
| 資料 7 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 使用車両（青塚駅～永和駅線） |
| 資料 8-1 | 通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線 ルート図及び時刻表 |
| 資料 8-2 | 通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線 新設路線一覧 |
| 資料 8-3 | 通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線 新設路線 |
| 資料 9 | 【新設】津島東高校（北）新設停留所写真 |
| 資料 9 | 追加分 |
| 資料 10 | ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験 青塚駅～永和駅線に係る運賃の決定について |

6 あいさつ

【会長】

今年の 7 月に開催した地域公共交通会議において、ふれあいバスの通勤・通学対応の実証実験の概要等をご案内させていただいた。本日は、ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験の実施についてご協議をいただきたい。今後のふれあいバスの見直しを進める中で、通勤・通学対応について判断するための重要な実証実験のため、委員には十分にご審議を賜りたい。また、本日の会議では、議題のほかにも地域公

公共交通全般に関して活発な意見交換の場にもさせていただきたい。

7 議事要旨

(1) ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験（協議事項）

【事務局】

《資料をもとに説明》

【中部大学】

3つお話をさせていただく。

1つ目、ダイヤについて、朝夕の一番混雑した時間帯で、道路も混雑していると思うが、このダイヤ設定で大丈夫か。

2つ目、これは警察に聞いたほうがいいと思うが、片側1車線の道でセンターラインも黄色で、こういった道路上のバス停にバスが止まったときに、後続した車は追い越していいかどうか確認したい。

【津島警察署】

基本的には、黄色い線は、はみ出しての追い越しは禁止になり、違反行為に該当するので、バスが発車するまで後ろで待機する形になる。

【中部大学】

それを徹底しないといけないと思う。

3つ目、今回の実証実験は2つの路線があり、実施期間がそれぞれ異なる。今回、定期券が新しく導入されるが、実証実験の期間中ずっと使えるのか、それとも路線ごとに使える定期券が違うのか。また、資料には「全区間」と記載があるが、この定期券を持ったら、通常のふれあいバスも全部乗れると勘違いしてしまう可能性がある。そのため、売り出す時には日付がわかるようにするのと、表現に気を付けていただきたい。

【事務局】

1つ目の道路の混雑について、事前に名鉄バスに何回も試走をしていただき、何回もやりとりをした上で決めたので、大丈夫だと考えている。

2つ目の後続車両に止まっていただく件は、徹底していくしかないと思っている。

3つ目の定期券について、先ほどの運賃料金協議会でも同じ質問があった。定期券は、津島駅～老松住宅線でしか、もしくは青塚駅～永和駅線でしか使えない定期券であり、全部の実証実験で使えるわけではない。また、通常のふれあいバスでは使えず、実証実験の部分だけでしか使えない。売り出すときには、その点をしっかり理解していただけるよう、表現など十分注意していきたい。

【名鉄バス】

ダイヤ設定について、実際の時刻で想定して試走した結果をもとに決めたので、適正だと思う。また、先ほど追い越しの話があったが、余裕を持って時間調整することが望ましくないと思い、定時で走れるように設定した。

【津島警察署】

資料3-3の3ページ、津島駅～老松住宅線の「新設する路線5」について、道路幅員が9.5mと記載されているが、写真を見ると片側1車線の両側歩道なのでおそらく15mぐらいあると思われる。一度確認をお願いしたい。

青塚駅～永和駅線について、1便はみどり台停留所が起点、9便は永宝団地南停

留所が終点となっている。駅から駅ではなく、途中で終わるのは何か意図があってやっているのか。

【事務局】

大坪町に名鉄バスの営業所があり、そこから出発するとちょうどみどり台停留所に入っていくやすいため、みどり台停留所を起点としている。また、最後も、永宝団地南停留所まで北上して、そこから営業所に帰りやすいため、永宝団地南停留所を終点としている。

【津島警察署】

利用者にとって、最終便が駅まで行かないのは、利便性としてどうなのか。

【事務局】

青塚駅を利用される方は、新おにえ橋より北の地域にお住まいの方だと考えており、神島田小学校区にお住まいの方が青塚駅を利用されることはあまり想定しておらず、永和駅を利用すると考えている。

北上ルート of 1 便をみどり台停留所起点とした理由は、蛭間小学校区など新おにえ橋より北の地域にお住まいの方をまずは青塚駅まで送り届けるためである。

一方、朝、永和駅を利用される方は、永宝団地南停留所から南の神島田小学校区にお住まいの方が多いと思うため、例えば名古屋等でお勤めされた方が永和駅に戻ってきて、自宅に戻るようカバーできればいいと考え、9 便は永宝団地南停留所を終点としている。

【津島警察署】

交通管理的なところから 2 点お話をさせていただく。

1 つ目、天王通 5 の交差点は非常に小さい。停止線を下げるといった対処も可能なので、実際に運用する中でもし不都合等があったら教えていただきたい。

2 つ目、みどり台停留所を路側帯に設置することについて、安全性は歩道より若干落ちる。今回、実証実験でやるということで、ソフト対策等を行っていただくが、実際に実証実験が終わった後、本設置に至るときに、こういった安全対策ができるのかご検討いただきたい。歩行者の安全が一番なので、停留所を目立たせるという観点をもって、ポストコーンの設置や街路灯の設置などをご検討いただきたい。

【愛知運輸支局】

今回の実証実験のために新設する路線は、実証実験が終わった後は廃止するという認識でよいか。

【事務局】

廃止する予定である。

【愛知運輸支局】

実証実験期間限定であることを、大々的に周知した上で、行っていただきたい。本格運行するにあたって、今後どのようなスケジュール感で行っていくのかお聞きかせいただきたい。

【事務局】

同時進行でバスの見直しを進めており、今年度内に一定の方向性を取りまとめたと考えている。この実証実験の結果を踏まえながら、バスの見直しを今年度中に

進めていき、3月の運賃料金協議会と地域公共交通会議で協議できればと考えている。

それを踏まえ、来年度いっぱいを準備期間として、バスの購入等を行い、再来年度から、この実証実験を踏まえた上での新たな運行形態でバスを運行できればと考えている。

【名古屋タクシー協会】

先ほどのスケジュールに関連して、前回の会議でも申し上げたが、3月6日までが実証実験期間で、その結果を取りまとめた上で3月の地域公共交通会議で協議するのは非常にタイトだと思うので、本当に3月に協議できるのか少し心配である。

実証実験結果の取りまとめで、利用人数だけではなく、利用者の声を聞くにあたっては、やはり時間的に難しいと思うので、どうやっていくのかまたご検討いただきたい。

【中部大学】

今の意見に賛成である。利用される方以外にも、本当は利用したかったけども利用できなかったという声もあると思う。昨年度アンケートをやっているため、今回の実証実験の対象者となる学校や企業が特定できると思うので、そこにヒアリング調査等をして意見をもらうという、もう一段階が必要だと思うので、ご検討いただきたい。

【事務局】

おっしゃる通り、事前に津島高校と津島東高校の先生とお話をさせていただいており、事前の調整や、実際乗った後の学生に対するアンケートも予定しているので、そういった結果を踏まえた上で、地域公共交通会議の場で報告したい。

【海部建設事務所】

例えば津島郵便局など、場所によっては、マウントアップって言って、道路より高いところが歩道だったりするので、乗降するときの注意喚起をお願いしたい。

また、本格実施するときには、マウントアップになっている箇所加工が必要になってくると思うので、そういうこともあわせてご検討いただきたい。

【名鉄バス】

西地域防災コミュニティセンターについて、平面図のとおり、物理的に通ることはできるが、過去運行していた際にも、駐車スペースをはみ出すような停め方をされると通りづらいという意見が出ていたので、常に満車になって車が溢れていることがなければ、9番の駐車スペースを規制してもらえると大変ありがたい。

【事務局】

西地域防災コミュニティセンターの方と相談させていただきたい。また、利用者にも、新たにバスが運行するため、バスに気をつけていただきたい旨の注意喚起を進めていきたい。

【会長】

議題（１）のふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について、同意いただける方は挙手をお願いしたい。

【構成員】

挙手全員。

【会長】

津島市地域公共交通会議要綱第5条第4項の規定により、同意をいただけたものとして、愛知運輸支局へ申請をさせていただく。

(2) その他

【愛知県バス協会】

少し時間をいただき、バス運転手合同就職説明会の開催についてご案内する。

ご承知のとおり、どの産業も人手不足だが、バスドライバー不足も大変深刻な状況である。全国各地では、運転士不足によりバス路線が廃止されたり減便されたりして、大きな問題になっているところがある。貸切バスも、繁忙期になると、例えば学校の修学旅行や遠足を今後断ることも考えられる状況である。

この合同就職説明会は中部バス協会が主催だが事務局は愛知県バス協会である。10月4日（土）名古屋国際センターで、愛知県を中心に東海4県の手バス事業者20社程度が一堂に参加する。名鉄バスもブース出展する。業界の厳しい現状をご理解いただくとともに、広く興味のある方がいらっしゃったらお知らせしていただきたい。

【事務局】

アンケート結果も勘案した上で行うため、時期を変更するかもしれないが、現時点では令和8年3月に第3回地域公共交通会議を開催し、見直しについての協議をしていただこうと考えている。後日改めてお知らせするが、ご出席をお願いしたい。